



旅籠屋丸一

創業江戸享保 猿ヶ京温泉

三国の山々に
抱かれる温泉宿



交通案内

ACCESS



旅籠屋丸一

創業江戸享保 猿ヶ京温泉

〒379-1403 群馬県利根郡みなかみ町猿ヶ京温泉199

Tel.0278-66-0066 予約対応時間 9:00-17:00(水曜定休)

<https://hatagoya-maruichi.com>

HISTORY

— 旅籠屋丸一の成り立ち —

江戸時代の享保年間に建てられた旅籠屋丸一は、かつて丸一屋と呼ばっていました。創業者は「友右エ門」。「群馬県史、資料編12」の「諸業高名錄」にも記載され、当館の過去帳に「一代目林友右エ門として記録されています。享保年間に創業した旅籠屋丸一は、猿ヶ京温泉の歴史深い宿のひとつです。

山あいの旅籠で 自由気ままに

豊かな水と緑、三国の山々に抱かれる猿ヶ京温泉。

その一角に旅籠屋丸一はございます。

書画が飾られ美術館のような館内。

群馬の味覚を味わう料理。

旅籠屋丸一がご提供するのは質の高い時間と空間。

必要以上にお客様に入り込むサービスは行いません。

その分、お客様にはのびのびと開放的な時間を過ごしていただけます。

当時の猿ヶ京温泉は、越後から米や塩を運ぶ人々と江戸からそれを買付けに来る商人たちが交流する重要な地点であり、本陣を置くほど往来が激しい場所でした。丸一屋は宿として繁盛し、七代目の友七や八代目の彦司など、他の分野で成功を収めた人々も傍出しました。特に友七は書画に優れ、画家や絵師を逗留歓待して描かせた高名な書画も収集しました。それらの作品は現在、館内随所に飾られています。「藏の湯HAYASHI」の前身である蔵は友七が建て、玄関ホールには友七自筆の力強い筆文字が残されています。幕末の書画も点在することがら、友七も新しい時代を望んだ人物の一人だったかもしれません。

その後、街道の宿としての歴史は閉じられましたが、十三代目が再び開業し、先人達の想いを大切にしながら少しずつ形を変えて現在に至っています。十五代目の宿主は、古き良き時代の作品や調度品を通じて、訪れる方々に安らぎを感じていただくことを心から願っています。



源泉／猿ヶ京温泉　泉質／カルシウム、ナトリウム硫酸塩(無色透明)

効能／神経痛、筋肉痛、関節痛、五十肩、うちみ、運動麻痺、関節のこわばり、くじき、慢性消化器病、痔病、冷え性、病後回復期、疲労回復、健康増進、傷、皮膚病、痛風、動脈硬化、胆のう炎、肥満、糖尿病、やけど



温泉風呂付き 特別室

友右エ門／文藏／友七
正明／彦司

天然温泉の風呂を
設えた客室

それぞれが独立している特別室は全5棟。白黒を基調とした和の客室で、天井を見上げると力強い梁に魅せられます。また、ひばと石で造ったとだわりの客室風呂は、ご滞在中何度でもおたのしみいただけます。一日の終わりは、シモンズ製ベッドを設えた寝室でゆったりとお休みください。



まるで美術館の ような設え

玄関の戸を引いて中に入ると、そこはまるで美術館のよう。洋画や古人の書画、アンティーク家具が並んでおり、離れならではの独特な空気を感じられます。清逸、晴湖、寛畝の客室には、作者にちなんだ書画を襖に配しております。画家たちの生きた時代へと思いを馳せるのも離れで過ごす醍醐味のひとつです。



温泉風呂付 本館離れ

1階 3室
清逸／晴湖／寛畝



2階
3室

万葉亭客室

檜／椎／楳



和の意匠 落ち着いた雰囲気

どこか懐かしい和の意匠は、落ち着いた雰囲気をいつそう引き立てます。もちろんお部屋は広々二間ですので、開放感溢れる旅のひと時をお過ごしいただけます。



一軒を隣同士の 二世帯で宿泊も良し

一軒を二部屋にしたセパレートタイプの特別室を二軒、合計四室ご用意いたしました。一軒を隣同士の二世帯で使っても良し。ラグジュアリー感のある特別なお部屋です。天然温泉の客室風呂を楽しんだ後は、シモンズ製ベッドでゆったりとお休みください。



一棟セパレートタイプ

温泉風呂付き 特別室

友吉／曾賀／繁松／万津

特別室